

2026 年 2 月 12 日
TOPPAN 株式会社**TOPPAN、インテリアディスプレイ「ダブルビュー®・ヴィジョン」が
分譲マンションで初採用**

アートをテーマとした動画や画像のコンテンツでマンション共用部を彩る

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大矢 諭、以下 TOPPAN)は、2024 年 4 月にディスプレイ画面への加飾と鮮明な映像表示を両立した特殊なデジタル木材化粧シート「ダブルビュー®フィルム」を開発し、これを搭載した、高いデザイン性が要求される空間での使用に適した、空間に溶け込むインテリアディスプレイ「ダブルビュー®・ヴィジョン」※1 を表示する画像や動画コンテンツの企画・制作とともに提供しています。このたび、「ダブルビュー®・ヴィジョン」および表示するコンテンツが、総合地所株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:梅津 英司)が開発した分譲マンション「ルネ川口ユトリエ」内の 1 階共用部廊下に採用されました。

「ルネ川口ユトリエ」に採用された「ダブルビュー®・ヴィジョン」では、「芸術のまち」である川口市にちなみ、カシオ計算機株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 社長 CEO:高野晋。以下、カシオ計算機)が開発した「Music Tapestry」や TOPPAN が推進している「可能性アート®プロジェクト」から生まれた障がいのあるアーティストの作品など、アートをテーマとした動画や画像のコンテンツを表示します。なおこのような動画や画像などアート作品の表示を可能にする「ダブルビュー®・ヴィジョン」の、分譲マンションへの採用は初めてとなります。



「ダブルビュー®・ヴィジョン」のイメージ

© TOPPAN Inc.

■ 開発の背景

近年、マンション共用部や公共空間における LED サイネージやプロジェクター投影が普及しています。それらは空間を有効活用し彩を与える一方で、非使用時の黒い画面がインテリアデザインに違和感をもたらしたり、プロジェクター投影における人影の写り込みや壁面のさえぎりがあるなどの課題があり、インテ

リアの空間に溶けこみ、映像も鮮明に映し出すディスプレイシステムの登場が期待されていました。TOPPAN はこの課題に対し、特殊な印刷技術によってディスプレイ表面へのリアルな加飾と、鮮明なディスプレイ表示を両立するデジタル木材「ダブルビュー®フィルム」を開発。これにより、インテリアと調和するディスプレイシステムが可能になりました。この度、「ダブルビュー®・ヴィジョン」がルネ川口ユトリエに分譲マンションとして初採用され、共用部の新たな価値づけツールとして導入されました。

■ 「ダブルビュー®・ヴィジョン」の特長

・インテリアと一体化したディスプレイ

「ダブルビュー®・ヴィジョン」は、普段は美しい壁や什器として空間に溶け込み、必要な時だけ映像を表示する、画期的なディスプレイです。壁紙や木目、石目などのインテリア素材とディスプレイを融合させることで、空間の意匠性を損なうことなく、デジタルサイネージの機能を提供します。これにより、伝えたい情報がある時だけスマートに表示するといった、洗練された空間演出と効果的な情報伝達を両立できます。

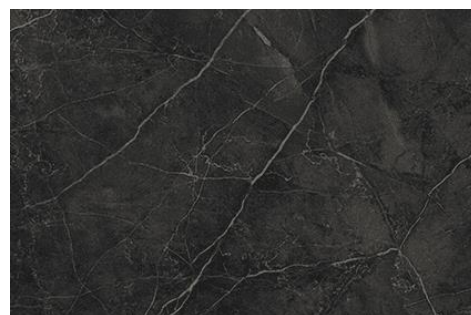


・高精細な映像表現

「ダブルビュー®・ヴィジョン」は、独自の印刷技術とディスプレイを組み合わせることで、高精細な映像表現を実現します。普段は壁面や什器として空間に溶け込み、必要な時にだけ、まるでその場に映像が浮かび上がるかのように、文字や動画コンテンツを鮮明に表示します。

これにより、デジタルサイネージ特有の「黒浮き」を抑え、インテリアデザインを損なうことなく、驚くほどリアルで美しい映像体験を提供。今回「ルネ川口ユトリエ」にて表示する「Music Tapestry」や「可能性アートプロジェクト」の作品など映像にこだわりのあるアート作品を活用し、空間の質を高めながら効果的な情報発信を可能にします。

ウォールパネルの後ろから映像を表示する為、プロジェクター投影における人影の写り込みによる映像の阻害影響はありません。又、表層がウォールパネルとなる為、デジタル感を軽減し、高品位なインテリア空間を実現。本物件における表面意匠は、高級感のある石目柄「パルピス」が採用されています。



■ 「ルネ川口ユトリエ」で表示するコンテンツ

・「Music Tapestry」

「ルネ川口ユトリエ」で表示するコンテンツの1つとして、カシオ計算機が開発した「Music Tapestry」を表示しています(※2)。「Music Tapestry」は演奏を絵にする技術で、独自の音楽解析技術により、楽しい曲は明るく、シックな曲はシックな雰囲気合うアートを生成することができる技術です。

カシオ計算機の「Music Tapestry」と TOPPAN の「ダブルビュー®・ヴィジョン」の協業は、一般社団法人研究営業アライアンス(所在地: 東京都文京区、共同代表: 夏目哲、西野成昭)が推進するオープンイノベーション活動を通じた研究営業アライアンスの技術マッチングによって実現しました。

「Music Tapestry」紹介 URL: <https://www.casio.com/jp/music-tapestry/>

一般社団法人研究営業アライアンス紹介 URL: <https://kenkyueigyoku.or.jp/>



・「可能性アート®プロジェクト」について

TOPPAN は、「障がい者の自立支援」、「企業の事業活動」と「人財開発」を組み合わせた独自の試みとして 2018 年より「可能性アート®プロジェクト」を推進しています。TOPPAN の高精細な画像データ処理技術を活用し、障がいのあるアーティストの作品を付加価値化することを通して、社会的課題解決(障がい者の自立)と経済的事業活動が両立するビジネスモデルを構築することを目指しています。

ルネ川口ユトリエでは、「無限の可能性・才能」をテーマにした「可能性アート®プロジェクト」から生まれた作品を TOPPAN の技術で高精細且つ「ダブルビュー®・ヴィジョン」での投影に最適な形にデジタル化し、コンテンツとして活用しています。独自にセレクトされた個性豊かなアート作品を、曜日替わりで計 30 作品「ダブルビュー®・ヴィジョン」上に投影します。なお、費用の一部が、アート使用料としてアーティスト本人と、障がい者アート協会の活動の支援に還元されます。



■ 「ルネ川口ユトリエ」について

川口市で最も広い平均専有面積 89.19 ㎡、70 ㎡～100 ㎡台の広さを最大限に生かした多彩なプランを実現した、家族の幸せを最大化する分譲マンションです。マンションのエントランスに「ダブルビュー®・ヴィジョン」を設置し、アートをテーマとした様々なコンテンツを表示します。

物件公式ホームページ:<https://www.sgr-sumai.jp/mansion/r-kawaguchiasahi68/>

物件概要

所在地 : 埼玉県川口市朝日 6 丁目 3-10

交通 : 埼玉高速鉄道埼玉スタジアム線「南鳩ヶ谷」駅 徒歩 15 分
JR 京浜東北線「川口」駅バス約 18～20 分、「朝日環境センター」バス停徒歩 4 分

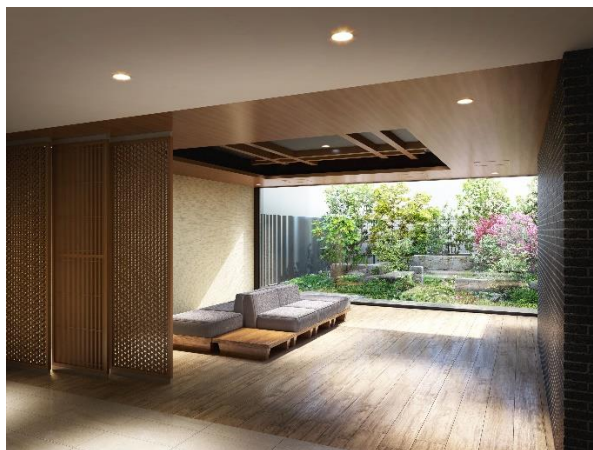
総戸数 : 68 戸

売主 : 総合地所株式会社

施工 : 株式会社長谷工コーポレーション



※外観 CG パース



※エントランスラウンジ CG パース

■ 「ダブルビュー®・ヴィジョン」について

「ダブルビュー®・ヴィジョン」は、特殊な印刷技術とインキを用いた化粧シートを使用した新世代のディスプレイシステムです。普段は木目や石目などの美しい壁面意匠として空間に溶け込み、必要に応じて映像や情報を鮮明に表示することができます。これにより、デジタルサイネージの「デジタル感」を軽減し、インテリアとしての質感を保ちながら、情報発信や空間演出を行うことが可能になります。壁から映像が浮かび上がるような、新しいユーザー体験を提供します。

■ 今後の目標

TOPPAN は、ホテル、オフィス、公共施設、マンションエントランス等に向けて本製品を展開し、2027 年までに関連受注を含め 50 億円の売上を目指します。また、TOPPAN はマンションエントランスやオフィス、ホテルなどの改修を企画から設計、施工まで請け負う空間演出事業「expacé®」を通じて、お客様の空間の価値向上に寄与いたします。

※1 2024 年に提供を開始した本製品は、当初「ダブルビュー®サイネージ」の名称で提供していました。その後ダブルビュー®フィルムに太陽光向けや家具向け、車載向け用途など、市場の異なる機能をラインナップしたことから、内装用途としてサイネージシステムと一体で提供する本製品名を「ダブルビュー®・ヴィジョン」として販売しています。

※2 「Music Tapestry」の一部デザインには、藤川佑介氏によるものを採用しています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上